資料２

「新たな経営改善目標（案）に対する所管局の意見」の様式改正について

令和８年８月

神奈川県総務局組織人材部行政管理課

神奈川県

「新たな経営改善目標（案）に対する所管局の意見」の様式改正の概要

令和８年８月18日（火）

神奈川県　総務局　行政管理課　団体調整グループ

はじめに

神奈川県

様式改正にあたり次の点についてご説明します。

- 改正の経緯

- 改正の内容

①「目標に対する視点と所管局意見」の3段階評価にあたっての基準を設定

②「目標に対する視点と所管局意見」について、目標全体の評価以外に、目標ごとの評価を追加

現行の様式５－２

神奈川県

（様式５－２）

新たな経営改善目標（案）に対する所管局の意見

1 法人の概要　（令和　年　月　日現在）

法人名					
設立年月日		代表者名			
所在地		電話番号			
基本財産等	円	県出資額	円	県出資率	#DIV/0! %

2 法人に対する今後の県の関与（人的・財政的支援）の考え

3 新たな経営改善目標(案)に対する所管局の意見

【県民サービスの向上等】

項　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備考

目標に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A B C	理由:
② 目標が明確かつ具体的であるか	A B C	理由:
③ 十分に高い目標水準か	A B C	理由:
④ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A B C	理由:

【収支健全化に向けた経営改善】

項　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備考

目標に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A B C	理由:
② 目標が明確かつ具体的であるか	A B C	理由:
③ 十分に高い目標水準か	A B C	理由:

所管課記入者名	課　〈内線　〉

改正の経緯

神奈川県

新たな経営改善目標の策定が必要な場合

様式4「現状の課題」

様式5－1「経営改善目標」

様式5－2「新たな経営改善目標（案）に対する所管局の意見」

様式4と5－1は法人、様式5－2は所管課が作成し、冬の第三セクター等改革推進会議に諮る

様式5－2

before

目標全体に対して、

4つの視点から

A・B・Cの3段階で

各所管課の基準により評価

R7第4回会議にて、統一された基準があると良いと意見をいただきました

after

目標全体と目標項目ごとに、

3つの視点から

A・B・Cの3段階で

行政管理課が設定した評価基準により評価

改正の内容①について

神奈川県

「目標に対する視点と所管局意見」の3段階評価にあたっての基準を設定しました（P8参照）

「新たな経営改善目標（案）に対する所管局の意見」の評価基準

【各項目の目標に対する評価】
○　次の基準により、具体に目標を定めた項目ごとに評価を行ってください。
※　県民サービスの向上等：①～③、収支健全化に向けた経営改善：①②
①　現状の課題の解決に直結しているか

	評価の基準
A	**課題の解決に直結している** ・課題の解決に直結した目標が示されており、高い成果が見込まれる。
	【理由の記載例】 法人の課題として、○○の強化があることから、「○○を強化する企業に対する助成金件数」という目標は、課題の解決に直結している。
B	**課題の解決に有効である** ・課題の解決に有効な目標が示されており、一定の成果が期待できる。
	【理由の記載例】 法人の課題として、○○の強化があるが、「○○を実施したいと考えている企業からの相談件数」という目標は、課題への一定の成果が期待できる。
C	**課題の解決に直結していない** ・課題に対して直接的な解決策とは認められず、成果が見込まれない。
	【C評価の留意点】 所管課がC評価と判断した項目は、原則として事前に法人と調整し、A評価又はB評価と認められる目標に修正した上で、当日の会議に諮るものとする。

②　目標は具体的で、十分に高い水準であるか

	評価の基準
A	**目標水準は高く、具体的かつ意欲的な目標である** ・設定された目標は、意欲的で高い水準であり、目標達成に向けて具体的な行動が示されており、達成することで大きな成果を生み出すことが期待される。
	【理由の記載例】 現在の目標より大幅に高い数値目標である、または現在の目標よりさらなる成果を目指した目標である。
B	**目標水準は十分であり、具体的かつ堅実な目標である** ・設定された目標は、現実的で従来以上の水準が示されており、目標達成に向けて具体的な行動が示されており、達成することで今後の成果が期待できる。
	【理由の記載例】 現在の目標より高い数値目標である、または現在の目標と比較して一定の成果を目指した目標である。
C	**目標水準が低く、具体的ではなく現状維持にとどまる目標である** ・設定された目標は、現状維持または以下の水準であり、目標達成に向けて具体的な行動が示されておらず、達成しても今後の成果には繋がらない。
	【C評価の留意点】 所管課がC評価と判断した項目は、原則として事前に法人と調整し、A評価又はB評価と認められる目標に修正した上で、当日の会議に諮るものとする。

1

③　県施策と関連性が高い項目が入っているか

	評価の基準
A	**県施策と非常に関連性が高い** ・設定された目標は、県施策と一致しており、県が目指す成果や目的を具体的に支援する形になっており、実行することで県が目指す方針に大きく貢献する。
	【理由の記載例】 県が策定した○○計画では、××事業の推進を掲げており、「□□セミナーの参加者数」は、それを支援する目標になっている。
B	**県施策とある程度関連性がある** ・設定された目標は、県施策とある程度関連しており、県が目指す方針を補完するものとして評価できる。
	【理由の記載例】 県が策定した○○計画では、××事業の推進を掲げており、「ホームページの閲覧者数」は、××事業のサポート施策として機能する内容である。
C	**県施策と関連性が低い** ・設定された目標は、県施策と関連性が低く、県が目指す方針への貢献も低い。
	【C評価の留意点】 所管課がC評価と判断した項目は、原則として事前に法人と調整し、A評価又はB評価と認められる目標に修正した上で、当日の会議に諮るものとする。

【目標全体に対する評価】
○　目標全体に対する視点の評価は、目標項目ごとの①～③の３段階評価の割合により、評価してください。

①各項目の評価で、A評価の数がB評価の数より多い場合、A評価（A＞B）

例　A評価５個、B評価３個、C評価０個

②各項目の評価で、A評価の数がB評価の数より少ない場合、B評価（A＜B）

例　A評価３個、B評価５個、C評価０個

②各項目の評価で、A評価の数がB評価の数と同じ場合、B評価（A＝B）

例　A評価４個、B評価４個、C評価０個

2

評価基準は、次のイメージで設定しました。
A：◎（ベスト）
期待以上の結果が見込める
B：〇（良好）
期待される結果が見込める
C：△（改善の余地あり）
改善が必要である

改正の内容②について

神奈川県

「目標に対する視点と所管局意見」について、目標全体の評価に加え、目標ごとの評価に改正

（1）目標全体に対しての3段階評価以外に、目標項目ごとの3段階評価も行うこととします。

（2）目標に対する視点②③を②としてまとめ、視点数を4つから3つとします。

改正後

【県民サービスの向上等】

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由:			
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由:			
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由:			

評価すべき範囲が明確になり所管課にとって評価しやすくなる

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由:			
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由:			
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由:			

現行

【県民サービスの向上等】

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由:			
② 目標が明確かつ具体的であるか	A　B　C	理由:			
③ 十分に高い目標水準か	A　B　C	理由:			
④ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由:			

「この目標はAだが、あの目標はB」といった状況で、評価に迷うことがあった

改正後の様式５－２

（様式５－２）

新たな経営改善目標（案）に対する所管局の意見

１ 法人の概要

（令和　年　月　日現在）

法人名					
設立年月日		代表者名			
所在地		電話番号			
基本財産等	円	県出資額	円	県出資率	%

２ 法人に対する今後の県の関与（人的・財政的支援）の考え

３ 新たな経営改善目標(案)に対する所管局の意見

【県民サービスの向上等】

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由:			
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由:			
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由:			

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由:			
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由:			
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由:			

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由:			
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由:			
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由:			

２ページ

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由:			
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由:			
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由:			

目標全体に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由:
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由:
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由:

「新たな経営改善目標（案）に対する所管局の意見」の評価基準

【各項目の目標に対する評価】

○　次の基準により、具体に目標を定めた項目ごとに評価を行ってください。

※　県民サービスの向上等：①～③、収支健全化に向けた経営改善：①②

①　現状の課題の解決に直結しているか

	評価の基準
A	**課題の解決に直結している** ・課題の解決に直結した目標が示されており、高い成果が見込まれる。
	【理由の記載例】 法人の課題として、○○の強化があることから、「○○を強化する企業に対する助成金件数」という目標は、課題の解決に直結している。
B	**課題の解決に有効である** ・課題の解決に有効な目標が示されており、一定の成果が期待できる。
	【理由の記載例】 法人の課題として、○○の強化があるが、「○○を実施したいと考えている企業からの相談件数」という目標は、課題への一定の成果が期待できる。
C	**課題の解決に直結していない** ・課題に対して直接的な解決策とは認められず、成果が見込まれない。
	【C評価の留意点】 所管課がC評価と判断した項目は、原則として事前に法人と調整し、A評価又はB評価と認められる目標に修正した上で、当日の会議に諮るものとする。

②　目標は具体的で、十分に高い水準であるか

	評価の基準
A	**目標水準は高く、具体的かつ意欲的な目標である** ・設定された目標は、意欲的で高い水準であり、目標達成に向けて具体的な行動が示されており、達成することで大きな成果を生み出すことが期待される。
	【理由の記載例】 現在の目標より大幅に高い数値目標である、または現在の目標よりさらなる成果を目指した目標である。
B	**目標水準は十分であり、具体的かつ堅実な目標である** ・設定された目標は、現実的で従来以上の水準が示されており、目標達成に向けて具体的な行動が示されており、達成することで今後の成果が期待できる。
	【理由の記載例】 現在の目標より高い数値目標である、または現在の目標と比較して一定の成果を目指した目標である。
C	**目標水準が低く、具体的ではなく現状維持にとどまる目標である** ・設定された目標は、現状維持または以下の水準であり、目標達成に向けて具体的な行動が示されておらず、達成しても今後の成果には繋がらない。
	【C評価の留意点】 所管課がC評価と判断した項目は、原則として事前に法人と調整し、A評価又はB評価と認められる目標に修正した上で、当日の会議に諮るものとする。

③　県施策と関連性が高い項目が入っているか

	評価の基準
A	**県施策と非常に関連性が高い** ・設定された目標は、県施策と一致しており、県が目指す成果や目的を具体的に支援する形になっており、実行することで県が目指す方針に大きく貢献する。
	【理由の記載例】 県が策定した○○計画では、××事業の推進を掲げており、「□□セミナーの参加者数」は、それを支援する目標になっている。
B	**県施策とある程度関連性がある** ・設定された目標は、県施策とある程度関連しており、県が目指す方針を補完するものとして評価できる。
	【理由の記載例】 県が策定した○○計画では、××事業の推進を掲げており、「ホームページの閲覧者数」は、××事業のサポート施策として機能する内容である。
C	**県施策と関連性が低い** ・設定された目標は、県施策と関連性が低く、県が目指す方針への貢献も低い。
	【C評価の留意点】 所管課がC評価と判断した項目は、原則として事前に法人と調整し、A評価又はB評価と認められる目標に修正した上で、当日の会議に諮るものとする。

【目標全体に対する評価】

○　目標全体に対する視点の評価は、目標項目ごとの①～③の３段階評価の割合により、評価してください。

①各項目の評価で、Ａ評価の数がＢ評価の数より多い場合、Ａ評価（Ａ＞Ｂ）

例　Ａ評価５個、Ｂ評価３個、Ｃ評価０個

②各項目の評価で、Ａ評価の数がＢ評価の数より少ない場合、Ｂ評価（Ａ＜Ｂ）

例　Ａ評価３個、Ｂ評価５個、Ｃ評価０個

②各項目の評価で、Ａ評価の数がＢ評価の数と同じ場合、Ｂ評価（Ａ＝Ｂ）

例　Ａ評価４個、Ｂ評価４個、Ｃ評価０個

（様式５－２）

新たな経営改善目標（案）に対する所管局の意見

１ 法人の概要

（令和　年　月　日現在）

法人名					
設立年月日		代表者名			
所在地		電話番号			
基本財産等	円	県出資額	円	県出資率	%

２ 法人に対する今後の県の関与（人的・財政的支援）の考え

３ 新たな経営改善目標(案)に対する所管局の意見

【県民サービスの向上等】

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：			
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：			
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由：			

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：			
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：			
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由：			

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考
目標に対する視点と所管局意見					
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：			
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：			
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由：			

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考

目標に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由：

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考

目標に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由：

目標全体に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由：

【収支健全化に向けた経営改善】

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考

目標に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考

目標に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：

項　　目	○○年度実績(見込)	○○年度目標	○○年度目標	○○年度目標	備　考

目標に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：

目標全体に対する視点と所管局意見		
① 現状の課題の解決に直結しているか	A　B　C	理由：
② 目標は具体的で、十分に高い水準であるか	A　B　C	理由：
③ 県施策と関連性が高い項目が入っているか	A　B　C	理由：

所管課記入者名	○○課△△（内線□□□□）

現　　状　　の　　課　　題

○　別表１「経営改善目標の策定における基本的視点」を参考に、可能な限り客観的データを用いて現状の課題を記載してください。

（法人名）

【県民サービスの状況】

【収支等の経営状況】

＊これまでの県からの財政的支援（または損失補償残高）の状況

年度	年度	年度	年度	年度
千円	千円	千円	千円	千円

【所管課意見】

＊　必要に応じて資料を添付してください。

法人記入者名 Tel　　（　　）	所管課記入者名 課 内線

参考資料
（様式５－１）

経営改善目標（目標期間：令和　年度～令和　年度）

（法人名）

１　法人の使命・担うべき役割

２　県が法人に期待する役割

３　法人運営における現状の課題

４　経営改善目標

【県民サービスの向上等】

No.○　●●●●（目標項目名）（××（単位））

令和　年度 実績（見込）	令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度

目標項目の選定理由 （達成により生じる効果）	
目標値の設定根拠	

【収支健全化に向けた経営改善】

No.○　●●●●（目標項目名）（××（単位））

令和　年度 実績（見込）	令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度

目標項目の選定理由 （達成により生じる効果）	
目標値の設定根拠	

＊今後の県からの財政的支援（または損失補償残高）の見込み

令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度	令和　年度
千円	千円	千円	千円	千円

5　その他特記事項

法人記入者名	Tel　　（　）	所管課 記入者名	課 内線